

●経理上手くんα Version 11.002

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ ATLASシリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。
- ◆ 令和元年中企業実態基本調査（平成30年度決算実績）対応
 - 中小企業庁の令和元年中企業実態基本調査（平成30年度決算実績）確報を元にした標準率テーブルを追加しました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“財務処理db（VERSION:11.002）の変更点”を参照してください。

📌注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

財務処理 d b (VERSION:11.002) の変更点

改良

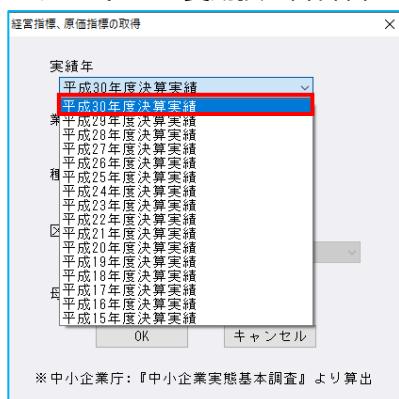
I. 令和元年中小企業実態基本調査（平成 30 年度決算実績）対応（DX・Pro IIのみ）

1) 登録・入力

2) 出力

① 中小企業庁の令和元年中小企業実態基本調査（平成 30 年度決算実績）確報を元にした標準率テーブルを追加しました。

- ・科目設定・残高登録の分析登録の「標準値（分析表）」「標準値（比較経営分析指数表等）」にある「標準値の取込」から“標準値”として取り込み可能です。
- ・「変動損益計算書」「比較経営分析指数表」の[F9 標準値]から“標準値”として取り込み可能です。（DX は変動損益計算書のみ）



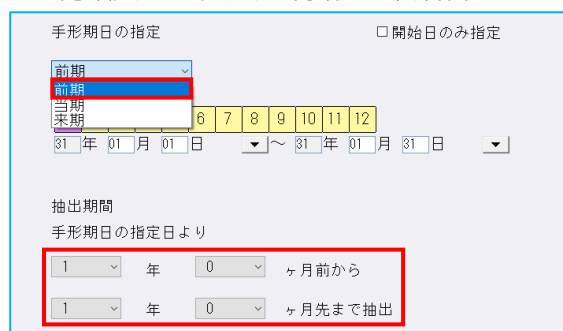
II. 他出力（Pro IIのみ）

1) 手形管理表

① 「手形期日の指定」で、“前期”を指定できるように改良しました。

- ・金融機関が休日等により、手形期日が前期で、当期に手形の入金仕訳を行った場合に、該当手形の“決済日”が入った帳票を出力することができませんでした。

上記改良により、該当手形の“決済日”が入った状態で出力することが可能になります。



- ・また、上記改良に伴い“抽出期間”を「〇年〇ヶ月前から〇年〇ヶ月先まで」指定できるように改良しました。

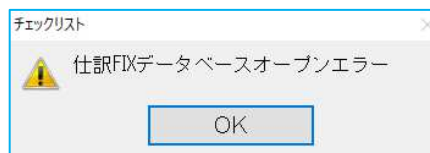
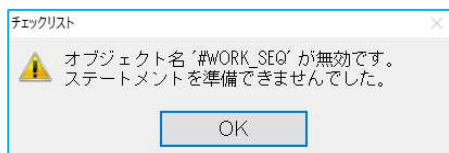
※“抽出期間”の改良は「受取手形一覧表」「支払手形一覧表」のみの対応となっています。

修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①個別対応のマスターで、仕入区分を指定して検索を行い、検索一覧画面から[F5 印刷]を行うと、下記エラーが出て印刷が行えなかったのを修正しました。



2) 元帳検索

- ①[F4 仕訳追加] 又は、[Ins 仕訳挿入] を行った際に表示するダイアログを、画面下部に表示している場合、部門や科目欄等にカーソルを止めると、部門や科目の選択一覧が画面から見切れていたのを修正しました。

3) 伝票発行

- ①通常入力で借方・貸方いずれかに部門を入力している仕訳を集計する際に、出力条件設定の「部門番号を出力する：名称のみ出力」又は、「部門番号を出力する：コードと名称を出力」にチェックを付けて集計すると、異なる部門番号に別の部門名称が表示されていたのを修正しました。

4) 新規会社登録・修正・削除

- ①財務と減価償却の共存マスターで、下記手順を行うと、減価償却の事業期間が財務の事業期間を超えているマスターが作成できていたのを、作成できないように修正しました。

II. 出力 (DX・Pro IIのみ)

1) 総勘定元帳

- ①持続化給付金申請の書類として、0円仕訳（現金/売上…0円）を入力して売上の元帳を出力する場合に、月指定で指定した最初の月が0円の仕訳のみの場合、「月替りによる改頁を行う」にチェックを付けていても、翌月分と一緒に出力されていたのを、正しく改頁を行い出力するように修正しました。
- また、「月替りによる改頁を行う」のチェックを外して出力を行うと、最初の月で「※※〇月計※※金額0」が出力されなかったのを、正しく出力するように修正しました。

III. 表形式 (Pro IIのみ)

- 1) 表形式財務予算取込
- 2) 表形式仕訳データ取込
- 3) 表形式出納帳データ取込
- 4) 表形式振替伝票データ取込

- ①取り込みを行う CSV ファイルを開いたまま取り込み処理を行えるように対応しました。

以上